

大阪府の公立高校の種類を紹介します⑤

久しぶりに掲載のこのシリーズです。以前、大阪府内の工業高校の校長先生にお会いしました。その校長先生が、「近年、工業高校を志望する子どもが減っています。本当に今の子どもたち（中学生）は工業に興味がないのでしょうか？」という疑問を投げかけておられたことが印象に残っています。また、このような工業高校の先生からこんなお話も。「工業高校に技術者を採用したい企業からたくさん求人がくるのだけれど、求人に対して生徒の数が足りていない」つまり、工業高校に通うと、たくさんの技術資格が取れ、そのような資格を持った人を企業はたくさん雇いたいんだけど、求めているほど人がいないということのようです。コロナ禍による求人の変化も今後考えられますが、高卒で就職を考えている人にとっては、普通科より条件がいいことは間違いないです。もし、本当に工業系に興味があるのなら、一度工業系の高校も見学したり体験授業に参加したりしてみるのもいいかもしれませんね。

そこで、この「大阪府の公立高校の種類を紹介します」のコーナーでは、工業高校・工科高校についてです。府立高校は工科高校（裏面の地図中の9校）、今年度まで大阪市立の工業高校は来年度以降も、大阪府立〇〇工業高校といいます。工科高校では、1年生で工業技術の基礎・基本を学びます。そして、将来設計や卒業後の進路を描きながら、2年生以降何を学ぶかを自分自身で決めることができます。学ぶ意欲を喚起し確かなものづくり技術の習得につながるよう、入学者選抜は総合募集の専科となります。また単独募集の学科として工学系大学進学専科があります。1年生から総合募集の専科とは異なるカリキュラムで3年間、理工学系大学進学等をめざして勉強します。

今年度まで大阪市立である工業高校は、都島工業、生野工業、泉尾工業、東淀工業、工芸の5校で、それぞれに専門学科があります。以下は今年度までの専門学科です。

都島工業（大阪メトロ谷町線「都島」駅下車50m）

■ 【機械科、機械電気科】、【建築科、都市工学科】、【電気電子工学科、理数工学科】

生野工業（JR大阪環状線 寺田町駅下車 東方向へ800m）

■ 機械科、電気科、電子機械科

泉尾工業（JR大阪環状線 大正駅から市営バス乗車「泉尾4丁目バス停」すぐ）

■ ファッション工学科、セラミック科、工業化学科、機械科、電気科

東淀工業（JR東西線 加島駅 東へ800m）

■ 機械工学科、電気工学科、理工学科

工芸（大阪メトロ谷町線 文の里駅 北へ300m）

■ ビジュアルデザイン科、映像デザイン科、プロダクトデザイン科、インテリアデザイン科、建築デザイン科、美術科

大阪府育英会奨学金申込締切、明日に迫る！

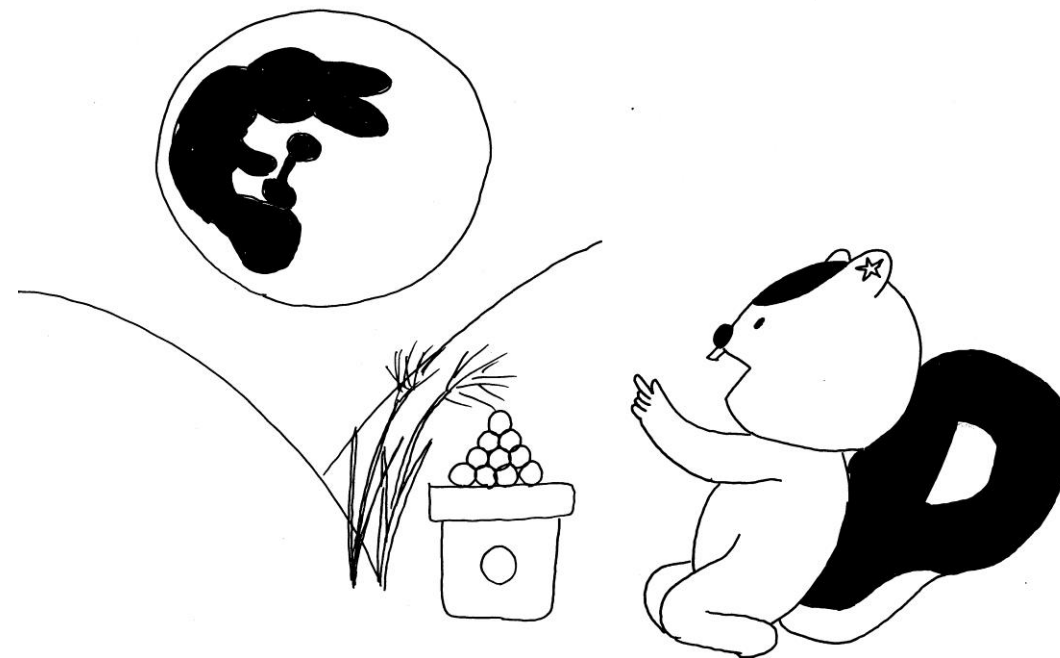
進路通信13号でもお伝えしましたが、「予約奨学生（奨学金）申込」は9月28日（火）になっています。各ご家庭で確認いただけましたでしょうか？

申込が完了するまでに書類を中学校側でもきちんと精査する必要があるため、必ず締切までにご提出ください。ただし、事情があって、28日（火）に間に合わない場合、必ず担任か奨学金担当の大隈まで申し出てください。

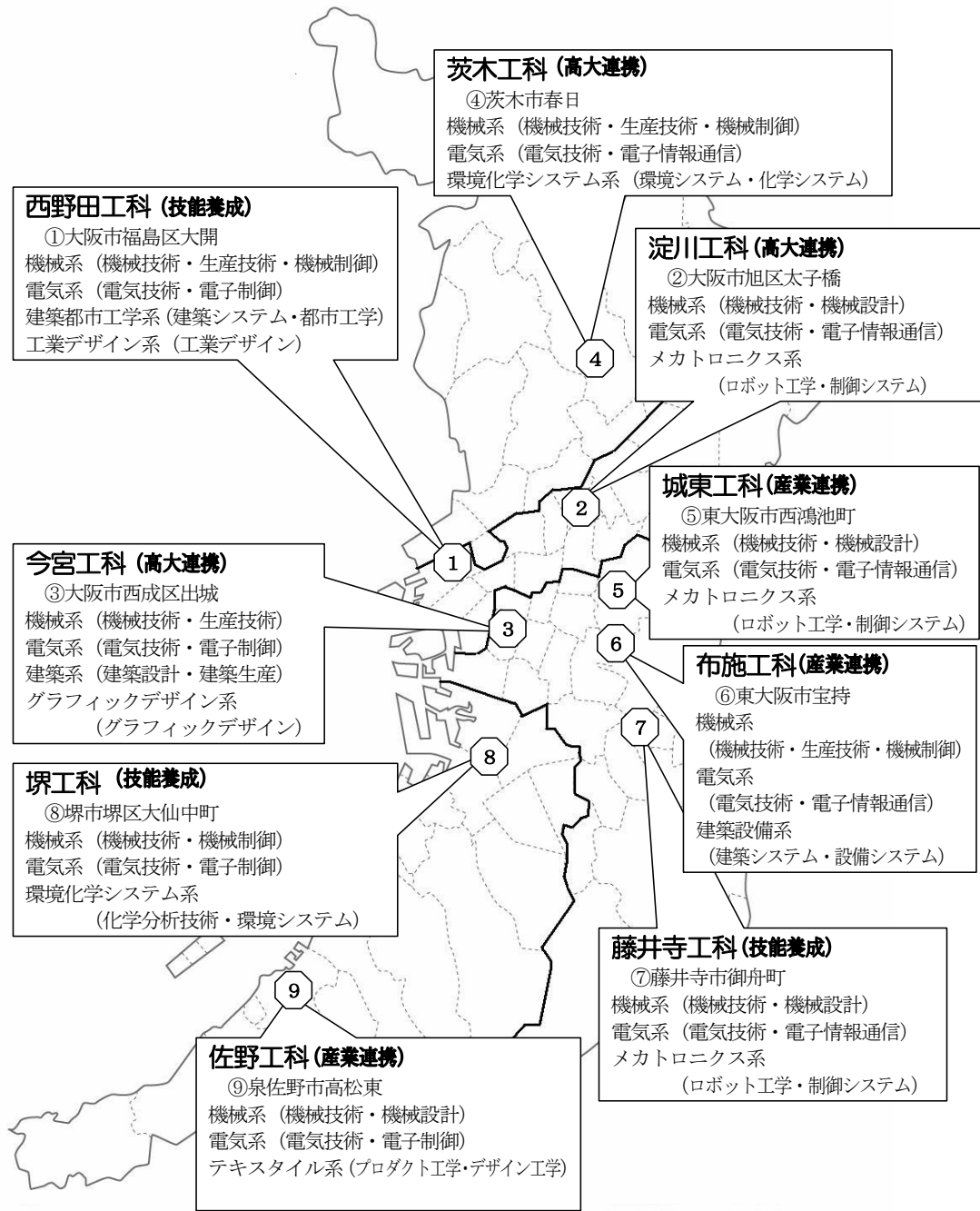
なお、「申し込んだけれど、4月になってみて奨学金は不要だった」という場合は奨学金を辞退することができます。少しでも中学校卒業後の学費が気になるというご家庭は「とりあえず申し込みます」で構いません。実際必要だったのに、「申し込んでいなかった」となってしまうことの方が、大変です。

また、「他府県の高校への進学を考えているから、大阪府育英会には申し込まない」と考えてしまいがちですが、保護者が大阪に在住で、他府県の高校（特に私立高校）へ進学するようなケースは、大阪府育英会奨学金で対応ができます。

うさぎがいるなら、いすもいるはず。



裏面もあります。



工科高校における人材育成の重点化について

高大連携重点型 (高大連携)

工業技術の理論を学ぶ工学系大学進学を視野に入れ、技術と理論を兼ね備えた「将来の高度技術者」の育成に重点を置く。

実践的技能養成重点型 (技能養成)

高度な職業資格取得をめざし、「高い付加価値を生み出す技術・技能力を持つ人材」の育成に重点を置く。

地域産業連携重点型 (産業連携)

実習や授業における企業連携をいっそう進め、「ものづくり現場を支えて指導・管理・改善を推進する現場のリーダーとなる人材」の育成に重点を置く。